

新型コロナウイルス感染防止のために PCR検査を希望者全員、無料で受けられるための要請署名のお願い

労働組合・諸団体の皆様

貴組織の日頃のご奮闘にこころから敬意を表します

「7月17日 新型コロナウイルス感染者 東京286人 大阪66人.....全国で622人」の衝撃的な報道が入ってきました。

それでも安倍政権は何の対策も打ち出さず、自粛・自己責任を繰り返すだけです。ここに安倍政権の正体があります。そればかりか、このような状況のなかでも、安倍政権は1兆7000億円の税金を使って「Go To トラベル」キャンペーン（東京を除く）を7月22日から実行すると発表しました。

このような安倍政権の対応は、労働者・学生・市民の「健康・生命・生活」を見捨てているのでは、と受け取られてもしかたがないと思います。それだけ安倍政権はわたしたちに信頼されていないのです。

いま、医療危機と言われていています。「Go To トラベル」キャンペーンに投入する1兆7000億円を、倒産寸前の病院や新型コロナウイルスと最前線でたたかう医療従事者等への補償に使用すべきだと思うのは当然ですし、また旅館など観光業者が破産の危機にあれば、そこに資金を投入すべきです。

また労働者の生活は失業者が増加し、コロナ問題で解雇者・雇止めは3万人以上となり、休業者は450万人に上り、とりわけ非正規労働者や技能実習生をはじめとする移住労働者には深刻な影響を与えています。労働者への補償が極めて不十分な中で、雇用破壊・生活破壊が加速的に進行しているのです。このような攻撃とどう闘うかが、いま労働組合や日本社会全体の大きな課題となっています。

世界的に見ても、医学的に言っても、ウイルス感染防止のためにPCR検査（抗原検査・抗体検査を含む）が必要なことは明らかなのに、日本ではその検査数が非常に少ないのです。厚労省のホームページでは2月18日～7月17日まで、PCR検査は62万6,149人と世界的にも極めて低く、日本全体の1%にも満たないことは驚きです。無症状の感染者もいますから、PCR検査をして陽性が陰性を明らかにすることが、わたしたちが安心して働き、生活できる最低の条件です。

以上のことから、わたしたちは政府あての「新型コロナウイルス感染防止のために、PCR検査を希望者全員、無料で受けられるための要請署名」に取り組みます。ここに別紙署名用紙を同封いたしますので、各部署におろしていただき、2020年8月31日までに回収して、お手数でも下記の署名集約先まで郵送をお願いします。

2020年7月

呼びかけ団体

壊憲 NO! 96条改悪反対連絡会議

共同代表

内田雅敏（弁護士・戦争をさせない1000人委員会事務局長）

関口広行（国鉄労働組合高崎地方本部委員長）

二瓶久勝（元国鉄闘争に勝利する共闘会議議長）

山口正紀（ジャーナリスト）

- ・署名第1次締切日：2020年8月31日
- ・署名集約先：〒113-0033 東京都文京区本郷3-29-10 壊憲 NO! 96条改悪反対連絡会議まで

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿
厚生労働大臣 加藤 勝信 殿

新型コロナウイルス感染防止のために

PCR 検査を希望者全員、無料で受けられるための要請署名

安倍政権は当初から新型コロナウイルス対策、とりわけ PCR 検査を怠り、その後も政権維持とオリンピック・パラリンピック開催のために、新型コロナウイルスを利用したのです。そして5月25日に緊急事態宣言を解除の際、安倍首相は、こともあろうに「コロナウイルスは収束し、日本型モデルを世界に示した」と言い切りました。労働者や学生や市民の「健康・命・生活」よりも経済を優先する方向に大きく舵を切りました。さらに新型コロナウイルス感染に対する補償等は極めて不十分で、休業による倒産・失業や退学・就職機会の喪失などに対して、自己責任であるとまで発言しています。このようなことは、許されません。

最近になって感染者は、ますます増え、東京（7月9日以降、緊急事態宣言中よりも感染者は増加しています。）をはじめ全国的に拡大しています。感染防止で多くの医療関係者も指摘するのは、日本ではPCR検査が少ないことです。世界的にも感染防止の第一はPCR検査で陽性か陰性かを判断することから始まるのです。そうでなければ、わたしたちは安心して働くことも、生活することもできないのが現実です。

以上のことから、自らと家族の「健康・命・生活」を守るために次のことを政府に要請します。

1. PCR 検査（抗原検査・抗体検査を含む）を希望者全員に行うこと。
2. 移住労働者、在日外国人も同等な扱いとすること。
3. PCR 検査（抗原検査・抗体検査を含む）を無料で何回も受けられるようにすること。
4. 上記のことを達成するために、医療機関等の検査体制の充実をはかること。

2020年7月

名 前	住 所

【呼びかけ団体】

壊憲NO! 96条改悪反対連絡会議

共同代表

内田雅敏（弁護士・戦争をさせない1000委員会事務局長）

二瓶久勝（元国鉄闘争に勝利する共闘会議議長）

関口広行（国鉄労働組合高崎地方本部執行委員長）

山口正紀（ジャーナリスト）

第1次締め切り：2020年8月31日

署名集約先：〒113-0033 東京都文京区本郷3-29-10 壊憲NO! 96条改悪反対連絡会議

誓約：この署名は、上記の目的以外には使用いたしません。

【署名取り扱い団体】